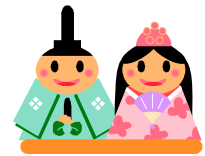


BPT (バイオマスプロジェクトチーム) だより No.40

<http://www.pref.chiba.lg.jp/svozoku/e/ichihai/bio/biotop.htm>



平成20年3月10日(月)
バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

1. 事業の進捗状況等

環境大臣と国民との対話

2月16日、「環境大臣と地球温暖化対策を考える集い」が幕張メッセにおいて開催されました。

これは、北海道洞爺湖サミットに先立ち、本県において気候変動等をテーマとしたG20グレンイーグルズ閣僚級対話が3月に開催されることから、その関連イベントとして開催されたものです。

約240名の小学校高学年の児童とその保護者が参加し、鴨下環境大臣が地球温暖化問題の



説明する鴨下環境大臣

現状と対

策について説明した後、会場の児童から数多くの質問が寄せられ、大臣との間で活発な意見交換がなされました。

資源循環推進課からは、エコバックと木質プラスチック製ボールペンを参加者全員に配布し、千葉県における資源循環への取組みを啓発・PRしました。



千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト

地域に賦存する木質バイオマス(被害材、林地残材、竹材、せん定枝など)を利活用する新たな用途開発研究の支援と地域資源循環モデルの創出を促進する「千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト」は今年度から「高機能木炭部会」、「木質プラスチック部会」の2部会体制で推進しています。

「木質プラスチック部会」については2月19日に、「高機能木炭部会」は29日に部会を開催し、今年度の成果報告と今後の事業推進等について意見交換を行いました。



木質プラスチック部会

南房総市の廃食用油の利活用について

南房総市は、環境都市づくりを目指す事業の一環として、給食センターから廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料を製造してごみ収集車で使用する取組みを計画しています。

市内の給食センターから出る廃食用油は月あたり約 1000 リットルあり、バイオディーゼル製造装置により軽油代替燃料に変換し、ごみ収集車等の燃料になります。

当面は給食センターからの油のみですが、将来的に家庭から出る廃食用油を回収し、市を挙げて環境負荷を考える取組みを目指しており、バイオマスプロジェクトチームも支援していく予定です。

外国プレス向け視察ツアー

2月29日、財団法人フォーリン・プレスセンター主催の在京外国報道関係者を対象にした「バイオマス in 千葉 プレスツアー」が開催されました。

まず、幕張メッセでバイオマスプロジェクトチームリーダーより千葉県のバイオマスの概要についてブ



ブリーフィング(幕張)



市原グリーン電力の取材

リーフィングを行った後、(株)アグリガイアシステムの循環型飼料化センターと(株)市原グリーン電力の国内最大級のバイオマス発電施設の取材に同行し、説明等を行いました。

2. 普及啓発活動

木質プラスチック製ボールペンの製作

バイオマス製品の普及啓発のため、木質プラスチック製のボールペンを製作しました。

このボールペンは“2色ペン”で、両側の黒ペン・赤ペンは中央部の軸からそれぞれ引き抜き、芯が出た状態に差し戻して使います。



写真



写真

(写真)

また、ストラップを付けて携帯ペンとしても利用でき(写真) バイオマスマークも取得した製品です。今後、環境イベント等で配布していく予定です。